

団 体 名	にのみや子ども自然塾
事 業 名 称	子どもたちの遊びの活動のための組織基盤強化
補 助 金 額	200,000円
現 場 確 認 日	平成29年6月5日（月）
出 席 委 員	月橋委員、山田委員



事業の概要

子どもたちののびのびとした遊びの環境づくりを目指す会の組織基盤を強化するために、備品の整備、ホームページによる発信力の向上、会員の研修を行う。

現場確認の内容

11時00分～11時50分頃、東大果樹園跡地にて「放課後自然塾」を見学しました。

木工品遊び、虫取りなど、好きな遊びを子ども同士で楽しんでいました。

補助金は、ホームページの管理費や研修講師の謝礼に使用されていることを確認しました。

今後の予定としては、博物館学芸員の槐真史氏を講師とし「昆虫観察会」や月1回のペースで東大果樹園跡地を開放し自由に遊べる「さとっこ」「放課後自然塾」を開催していく予定です。

出席委員のコメント

- ・ 広々としたグラウンドで虫取り網を持って蝶々を追いかけて走り回る様子に、のびのびとした子どもらしさを感じ、好感を持ちました。
- ・ 二人で追い掛けっこをしている姿と、その後に土煙の立つのを見ました。必死で逃げる子と追い掛ける子。たぶん運動会当日の徒競走より力強く真剣なのかもしれません。
- ・ 参加者があまりにも少なくて、もったいないなと思いました。
- ・ 実施場所の固定は、安心の裏に地域的狭さを伴います。広範囲からの参加を望むのであれば、三校区域を順番に、学童保育と連携して計画することも一つの方法だと思います。
- ・ 参加児童は、内容や理解度から常態化しているように思いました。
- ・ 物置の屋根を自分たちで修理するなど会員の皆さんの地道な努力が伺えました。
- ・ 木陰に子供向けの絵本が敷物の上に並べられていて、戸外で心地良い風に吹かれながら、絵本を読むことは、良い企画だなと思いました。
- ・ 梅の実が道路に落ちていて、伸びた草に囲まれて、見守る指導員がいて、そんな自然塾でした。

団 体 名	青少年を育むコンサートの会
事 業 名 称	音楽体験によって青少年を育成する事業
補 助 金 額	200,000円
現 場 確 認 日	平成29年12月2日(土)
出 席 委 員	村田委員



事業の概要

総合芸術（音楽・美術・舞台照明など）であるオペラの練習から公演までの全工程を体験し、プロのオペラ歌手と共演する中で育まれる青少年の努力・達成感、協調性の育成。



現場確認の内容

ラディアンホールで開催された12月3日開演のオリジナルオペラ「聖なる夜の物語」の最終リハーサルを見学しました。

「聖なる夜の物語」はイエスキリストが馬小屋で誕生するまでを演じたもので、子どもから高齢の方まで様々な世代がホールに響き渡る大きな声で練習に励んでいました。

また、高山村から子供達21人の参加もあり、高山村内で練習を重ね、今日初めて全体練習に参加し、秦野に宿泊して明日の本番に臨むとのことでした。

出席委員のコメント

- ・オペラということで登場した人物それぞれにセリフの他に独唱歌があり、合唱曲がありと皆さんがホールに響き渡る大きな声で歌う姿には心に響くものを感じました。幕が進むにつれ、引き込まれ、出演者全員が合唱するエンディングの場面は、特に素晴らしく感動的でした。
- ・練習は夏休み頃から土日などそれぞれ20回程度の個別練習で、全員が集まったの練習は殆ど行われていないとのこと、演出や、振り付け指導のスタッフが相当苦勞されたものと思います。
- ・このオペラが翌日の昼の部、夜の部の2回公演で終わってしまうのは勿体ないので、近隣の平塚、小田原などでの公演も行い、断続的な団体活動にステップアップした方が良いと感じました。
- ・数年に一回の活動ではなく、毎年開催される定期行事として定着されることを期待します。

団 体 名	二宮町総合型地域スポーツ（ラビッツ）クラブ設立準備委員会
事 業 名 称	二宮町総合型スポーツ（ラビッツ）クラブ設立準備委員会
補 助 金 額	200,000円
現 場 確 認 日	平成29年12月21日（木）
出 席 委 員	山岡委員



事業の概要

あらゆる世代の町民が世代や年齢を超えて、運動や文化的活動に親しむことのできる環境や地域交流のできる場づくりを整備し、住む人皆が友達となり、毎日健康で、幸せに生き生きと過ごすことができるように健康寿命の維持・延伸を目指す。

現場確認の内容

フットサル、バレーボール大会、ビーチバレーボール大会、幼児運動能力検査などを開催しているラビッツクラブの活動のうち、12月21日（木）1二宮小学校体育館にて開催されている機械体操のクラスを見学しました。

マット運動、トランポリンに分かれ、指導者の指示のもと楽しそうに運動を行っていました。

出席委員のコメント

- ・寒い日でしたが、未就園児から小学生までの子供たち20人弱がトランポリンとマット運動に分かれて運動をしていました。
- ・子供達は指導者の指示のもと楽しそうに運動に講じていました。
- ・子供達のお母様方と思われる方が10名程度見学されていました。この日の参加人数は年末のため少ないほうで通常は30人程度の参加があるとのことでした。
- ・毎回30人程度の参加ということで、町民のニーズがあり、また健康づくりの観点からも子どもたちにこうした運動の機会を継続的に提供できることは意義のある事と感じました。

団 体 名	菜の花アートフェスティバル実行委員会
事 業 名 称	湘南二宮 菜の花アートフェスティバル
補 助 金 額	200,000円
現 場 確 認 日	平成30年2月11日
出 席 委 員	手塚委員長、大河原副委員長、野原委員



事業の概要

菜の花ウォッチングと連動してのアートフェスティバルの開催。

駅周辺の空き店舗、営業店舗のスペース、個人アトリエで参加アーティストの作品展示販売を行うアートイベント。

町おこしのイベントとし、結果として町の活性化したい。

現場確認の内容

2月11日(日)に現地確認を行いました。

作品を展示するのはプロ・アマを問わず活動している作家などで、町内外から出展されていました。

参加アーティストは、41組と昨年より5組増えていました。木彫や漆工芸、布、皮革、アクセサリ作家の作品が展示販売されていました。

出席委員のコメント

- ・前年より参加店が増え、質がよいものが多かったです。
- ・看板が設置されたこともあり、前回よりも対象店舗が分かりやすく、より入りやすくなったが、あまり目立っていませんでした。のぼり旗等の色の工夫が必要だと思います。
- ・メンバーがチラシやパンフレットを配り、フェスティバルを盛り上げた方がよいと思います。
- ・参加アーティストから売上が良いとの意見もありましたが、前年より人通りが少なく採算が取れているか心配です。何か人通りを増やす仕掛けが必要だと思います。
- ・全体的に拡大されている印象があった。反面、運営的に負担が多くなり、大変な部分が増えたようですが、参加者や来場されるお客様の反応も良いようなので、来年度以降も引き続きの開催を希望します。

団 体 名	東大跡パラスポーツの会
事 業 名 称	「東大跡パラスポーツの会」の設立、運営
補 助 金 額	50,000円
現 場 確 認 日	平成30年2月7日（水）
出 席 委 員	高橋委員、志賀委員



事業の概要

障害のある人もない人も年齢がいくつの人でも、一緒になってスポーツをする、観る、支えることを実践する。

同時にこの活動が地域における共生社会づくり（ノーマライゼーション）を推進する環境の一つとして広まることを目的とする。

現場確認の内容

2月7日（水）14時から1時間30分程度、東大二宮果樹園跡地にて開催されたパラスポーツ活動を見学しました。

24名が参加され、フライングディスク（空飛ぶ円盤）、ソフトボール投げ、ジャベリックスロー（軽いやり投げ）の練習を行っていました。

練習の成果もあり、県大会等の表彰受賞者は12名。

ボランティアの方が8名いらっしゃいましたが、一緒にスポーツを楽しんでいる空間がありました。

出席委員のコメント

2月の寒い中、障害のある方や支えるボランティアの方、みなさん元気にスポーツを楽しんでおられました。ソフトボール投げ、ジャベリックスロー（やり投げ）、フライングディスクの3種目を時間・場所を区切って交代でそれぞれが取り組んでいました。

会の方から、補助金で道具を購入することができた、ただ、ボランティアが高齢化しており困っているなどの声をお聞きしました。

とにかく一緒に楽しむことで活動が長続きするとのこと。県障害者スポーツ大会にも出場しており、このような活動がパラリンピックにもつながっていくのを感じました。

寒い日、暑い日、無理をしないで続けていただければと思います。